余震のエネルギーと頻度について*

字 津 徳 治**

On Energy and Frequency of Aftershocks

T. UTSU

Seismological Section, C. M. O.

The investigations are made on how the energy released by aftershocks decreases with the passage of time in some earthquakes which occurred in Japan. Using the data of C. M. O., the energies of aftershocks of 16 shallow earthquakes listed in Tab. 2 are determined from their radii of perceptibility.

The results are shown in the figures; Fig. 2 indicates the logarithm of energy (solid line) and reciprocal of frequency (dotted line) of aftershocks per day, and Fig. $3\sim18$ indicate the summation of the energy and the frequency, taking the logarithm of the time elapsed since the time of occurrence of the main shock on the abscissa. The general features of these figures are represented schematically by Fig. 19, which reveals a turning point on the energy summation curve. The turning point of each earthquake appeared some minutes or hours after the main shock respectively.

§1. はしがき

浅い大きな地震は多くの余震をともなうものである。一般に大きな地震ほど余震の規模も大きく っ その数も多い、余震の数が本震発生後の経過時間とともにいかに変 るかは、多くの調査研究の結 果、単位時間ごとの余震頻度は双曲線的に減小してゆくといわれている。一方余震によって地殻か ら出てくるエネルギーは時とともにいかに変ってゆくであろうか。筆者は日本に起ったいくつかの 大きな地震についてまずこのことを調べてみた。

§2. エネルギーの求め方

上の目的のためには、沢山の余震のエネルギーを求めなければならない. もちろん地震のエネル ギーを正確に勘定することはほとんど不可能であるが、エネルギーの目安をきめる簡単な方法とし ては、まず、そのマグニチュード M を求め、これから Gutenberg-Richter の式⁽¹⁾

$\log E = 12 + 1.8 M$

(1)

** 中央気象台地震課

* Received Feb. 28, 1953.

 B. Gutenberg and C. F. Richter; Earthquake Magnitude, Energy and Acceleration, Bull. Seism. Soc. Amer. 32 (1942),163

· 18 —

によってエネルギーEを出すことが考えられる.Mを求めるには、いろいろの方法があるが、ここでは一番簡単に有感半径rから推定することにした.rとMの間にはたとえばGutenberg-RichterがCaliforniaの地震($r = 30 \sim 600 \text{ km}$ のもの)について求めた実験式⁽¹⁾

$$r = 2, 3 (M - 1, 3)^3 - 1, 7$$

があるが、これをそのまま用いることにした⁽²⁾. (1)と(2)から計算したr, M, E の間の関係を 第1表および第1図に示す.



 logE
 有感半径rをきめるには次のようにした.比較的

 26
 大きな地震で各地の震度が沢山わかっているとき

 25
 は、そのうち震央から最も遠い点の震央距離を有感

 24
 半径とした⁽⁴⁾.ただし、とびはなれて有感である点

 23
 は除いた.小さな地震や海底の地震で有感の地点が

 24
 非径とした⁽⁴⁾.ただし、とびはなれて有感である点

 25
 は除いた.小さな地震や海底の地震で有感の地点が

 26
 水いときは、"地震計の有感半径" R(地震計⁽⁴⁾に記

 27
 扱されたと報告のあった最も遠い点の震央距離)を

 28
 水めこれからrを推算した.rとRの関係はもちろ

 18
 ん正比例するわけではないが、20 km>r> 100 km

 700km
 の範囲ではだいたい、

67

$r = \alpha R$, $\alpha = 0.2$

としてよいようである. なお, 震央がきめられないものは最も遠い観測点の P~S時からその点 の震央距離; すなわち, Rを推定し, それもできないときは余震域の中心を震央と仮定して R をき めた. もちろん, このようにしたのは小さな余震なのでこれが少し精度が悪くても全体の結果にお よぼす影響は小さい. なほ, 余震は同じ地域に起り, 機構も似ているので, 有感半径の大きいもの ほどエネルギーも大きいと考えて間違いはない. 有感半径からエネルギーを求めることも, このよ うなときにはつごうがよいと思われる.

このようにして,第2表に示す地震の余震のエネルギーを本震から10分後より25日後までのもの について求めた.資料はすべて中央気象台地震課に保存してある観測原簿によった.余震の総数は 約4,000 で有感半径別の数を第3表に示す⁽⁵⁾.

各地震の余震の発震時と推定有感半径は第5~11表に示す.ただし紙数の都合で丹後,男鹿,鳥 取,三河,福井,栃木,大聖寺の7つだけとし,他の9つは省略した.

- (2) 震源の深さは考えない.
- (3) 有感区域を円とみなしその半径を用いるより、このほうが種々の点でつごうがよい.
- (4) 大部分はウイーヘルト地震計,一部はそれより低倍率の地震計.
- (5) 余震の数は小さいものほど多いけれど、この程度までとればエネルギー全体をほぼあらわすことができる.

§3. 余震のエネルギーと頻度の時間的変化(その1)

まず本震から 0~1, 1~2, ………, 9~10日の間に発生した全エネルギーの対数 log E (実線) および余震回数の逆数 1/n (破線) を示すグラフを各地震について書いた. これを第2図に示す. いま, もしエネルギー E が本震からの経過時間 t に関して,

$$E = E_0 e^{-\lambda t} \tag{3}$$

(4)

というように指数函数的にへってゆくとすれば、

$$\log E = \alpha - \beta t.$$

$$z \subset \kappa, \qquad \alpha = \log E_0, \quad \beta = \log e \cdot \lambda = 0.4343 \,\lambda.$$





- 21 -

すなわち、 $\log E$ 、t グラフは直線となる、第2図の実線はかなり凹凸が大きいが、直線とみなして E_0 、 λ を求めたものを第4表に示しておく、

また,頻度 n が経過時間 t に関し,

$$=\frac{A}{B+t}$$
(5)

というように双曲線的に入ってゆくとすれば,

n

$$\frac{1}{n} = a + bt.$$

$$a = \frac{B}{A}, \quad b = \frac{1}{A}.$$
(6)

ZZK,

すなわち 1/n, t のグラフは直線となる,第2図の点線は直線というよりやや下に凸の曲線をな しているものが多いが,直線とみなして A, Bを求めたものを第4表に示しておく、第4表から みると、本震の M が大きいほど、 E_0 , Aも大きくなる傾向があるが、あまり明りようではない.



また $M \ge \lambda$, $B \ge o$ 関係はほとんどみとめられない⁽⁶⁾.

§4. 余震のエネルギーと頻度の時間的変化(その2)

第2図では本震直後の状況がわからないので、時間の単位を6時間および2時間にとった場合を 書いてみたが(図略)、さらに、全体をよく表わすため次のような図をかいた、横軸に経過時間の 対数 log t をとり、縦軸にはこの時刻までに出たエネルギーの総和、および回数の総和をとった図 、で第3~18 図の上方がこれである。図で階段上をなし所々黒丸がのっているのがエネルギーの積算 の方で、なだらかな線のぼうが回数の積算のほうである。黒丸は有感半径 100km 以上の地震をあ らわしている。下方の柱状図は横軸は上方の図と同じ log t で、その0.01~0.1~1~10 日の各区 間を5等分し、その区間中に出たエネルギーの和の対数をあらわしている。この図では上の積算曲 線では平らになっている部分もいくらかのエネルギーが出ていることがはっきりしてくる。



- 23

(6) くわしくは続報でのべる。







.



さて、上方の図をおのおのの地震についてみくらべると、その 全般的傾向は第 19 図に示すもののようになっているようであ る、すなわち余震のエネルギーの出かたについては、図で矢印を つけた所に転換点があり、その前では積算が logt に対しほぼ直 線的であるが、後では上に凸の曲線になっているとみなすことが

Fig. 19

一方頻度のほうはこのような転換点が見当らない.しかし、エ ネルギーの転換点の前では頻度の積算は、やや下に凸で後では上

に凸の形をしている傾向がある:

転換点が明りようにあらわれているのは、大聖寺沖、三河、鳥取、河内大和の地震などで、丹後、 北伊豆, 福東沖などはよくあらわれていない. 第4表には各地震の転換点の本震からの時間 T を 示しておいた. これによると,転換点があらわれるのは,本震から30分~20時間の後であり,半 日や1日単位で統計をとっていたのではあらわれてこないものである.

できる.

余震のエネルギーと頻度について----宇津

なお、このように余震のエネルギーの出かたが二つの段階にわかれることは、すでに Benioff (7) によって、California の地震についてみとめられており、エネルギーの平方根 $E^{i/s}$ の積算曲線 $^{(s)}$ をかくと、第19図と同様にはじめ直線、後で上に凸の曲線をなしている、転換点はやはり本震から 0.01~3 日の間に出ている. この説明として Benioff は前の直線部分は Compressional Stress の 回復,後の曲線部分は Shearing Stress の回復であるとしているが、例外もあるしこの説の当否も 問題であるが、California および日本の双方の地震とも同様な傾向を示していることは興味深い、

たお、この問題については、多くの議論すべき点が残されているが、それらは続報にまわしたい と思う.

この研究について御指導と御激励をたまわった井上宇胤,広野卓藏両博士,並びに地震学会で代 読して下さった宇佐美竜夫氏にあつくお礼申しあげます.

(7) H. Benioff; Earthquakes and Rock Creep (I), Bull. Seism. Soc. Amer. 41 (1951) 31

(8) いま, tからt + diまでの時間中の余震の数を n(t) とし, 一つの余震がEからE + dEまでの間の エネルギーである確率を p(E) とすれば、もし p(E) がtに無関係ならば、E のいかなる函数 f(E) を とっても各余震のf(E)の積算曲線F(t)は、 Ct / C∞

$$\mathbf{Y}(t) = \int_{t_0} \left(\int_0 n(t) \, p(E) f(E) \, dE \right) dt = \text{const. } N(t) \, .$$

つまり数の積算曲線 N(t) と比例するはずである.したがって Elaの積算でも Eの積算でも図の形は似 たものになる、なおくわしくは続報でのべる.

- 27 -

$r(\mathrm{km})$	M _r	$\log E$	E(erg)	r(km)	M _r	$\log E$	E(erg)	$r(\mathrm{km})$	M _r	log E	E(erg)
$20 \\ 30 \\ 40 \\ 50 \\ 60$	$\begin{array}{c c} 3.4_1 \\ 3.7_0 \\ 3.9_3 \\ 4.1_2 \\ 4.2_9 \end{array}$	$ \begin{array}{c} 18.1\\ 18.7\\ 19.1\\ 19.4\\ 19.7 \end{array} $	$ \begin{array}{c} 1.3 \times 10^{18} \\ 4.5 \\ 1.2 \times 10^{19} \\ 2.6 \\ 5.4 \\ \end{array} $	250 260 270 280. 290	$\begin{array}{c} 6.0_8 \\ 6.1_4 \\ 6.2_1 \\ 6.2_7 \\ 6.3_2 \end{array}$	$\begin{array}{c} 22.9 \\ 23.1 \\ 23.2 \\ 23.3 \\ 23.4 \end{array}$	$\begin{array}{c} 8.9 \times 10^{22} \\ 1.2 \times 10^{23} \\ 1.5 & '' \\ 1.9 & '' \\ 2.4 & '' \end{array}$	480 490 500 510 520	7.2_4 7.2_8 7.3_2 7.3_6 7.4_0	$\begin{array}{c} 25.0 \\ 25.1 \\ 25.2 \\ 25.3 \\ 25.3 \\ 25.3 \end{array}$	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$
$70\\80\\90\\100\\110$	$\begin{array}{r} 4.4_5 \\ 4.5_9 \\ 4.7_2 \\ 4.8_4 \\ 4.9_5 \end{array}$	$\begin{array}{c} 20.0 \\ 20.3 \\ 20.5 \\ 20.7 \\ 20.9 \end{array}$	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	$300 \\ 310 \\ 320 \\ 330 \\ 340$	$\begin{array}{c} 6.3_8 \\ 6.4_4 \\ 6.4_9 \\ 6.5_4 \\ 6.\epsilon_0 \end{array}$	$23.5 \\ 23.6 \\ 23.7 \\ 23.8 \\ 23.9$	3.1 <i>"</i> 3.9 <i>"</i> 4.8 <i>"</i> 6.0 <i>"</i> 7.4 <i>"</i>	530 540 550 560 570	$7.4_4 \\ 7.4_8 \\ 7.5_1 \\ 7.5_5 \\ 7.5_9$	$\begin{array}{c} 25.4 \\ 25.5 \\ 25.5 \\ 25.6 \\ 25.7 \end{array}$	2.4 <i>"</i> 2.9 <i>"</i> 3.3 <i>"</i> 3.9 <i>"</i> 4.6 <i>"</i>
$120 \\ 130 \\ 140 \\ 150 \\ 160 \\ 100 $	5.0_5 5.1_5 5.2_5 5.3_4 5.4_3	$\begin{array}{c} 21.1 \\ 21.3 \\ 21.5 \\ 21.6 \\ 21.8 \end{array}$	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	350 360 370 380 390	$\begin{array}{c} 6.6_{5} \\ 6.7_{0} \\ 6.7_{5} \\ 6.7_{9} \\ 6.8_{4} \end{array}$	$24.0 \\ 24.1 \\ 24.2 \\ 24.2 \\ 24.3 \\$	9.3 <i>"</i> 1.1×10 ²⁴ 1.4 <i>"</i> 1.7 <i>"</i> 2.1 7 <i>"</i>	$580 \\ 590 \\ 600 \\ 610 \\ 620$	$7.6_{2} \\ 7.6_{6} \\ 7.7_{0} \\ 7.7_{3} \\ 7.7_{7}$	25.7 25.8 25.9 25.9 26.0	5.3 <i>"</i> 6.1 <i>"</i> 7.1 <i>"</i> 8.1 <i>"</i> 9.5 <i>"</i>
$170 \\ 180 \\ 190 \\ 200 \\ 210$	5.5_1 5.5_9 5.6_7 5.7_4 5.8_2	$\begin{array}{c} \hat{2}1.9\\ 22.1\\ 22.2\\ 22.3\\ 22.5\end{array}$	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	$\begin{array}{r} 400 \\ 410 \\ 420 \\ 430 \\ 440 \end{array}$	$\begin{array}{c} 6.8_9 \\ 6.9_4 \\ 6.9_8 \\ 7.0_2 \\ 7.0_7 \end{array}$	$24.4 \\ 24.5 \\ 24.6 \\ 24.7 \\ 24.7 \\ 24.7$	2.5 <i>"</i> 3.1 <i>"</i> 3.7 <i>"</i> 4.4 <i>"</i> 5.3 <i>"</i>		$7.8_{0} \\ 7.8_{3} \\ 7.8_{7} \\ 7.9_{0} \\ 7.9_{3}$	$\begin{array}{c} 26.0 \\ 26.1 \\ 26.2 \\ 26.2 \\ 26.3 \end{array}$	1.1×10^{26} 1.3 " 1.5 " 1.7 " 1.9 "
$220 \\ 230 \\ 240$	$5.8_9 \\ 5.9_5 \\ 6.0_2$	$22.6 \\ 22.7 \\ 22.8$	3.9° <i>"</i> 5.2 <i>"</i> 6.8 <i>"</i>	$450 \\ 460 \\ 470$	$7.1_2 \\ 7.1_6 \\ 7.2_0$	$24.8 \\ 24.9 \\ 25.0$	6.4 <i>"</i> 7.6 <i>"</i> 9.0 <i>"</i>	680 690 700	7.9_7 8.0_0 8.0_3	$26.3 \\ 26.4 \\ 26.5$	2.2 <i>"</i> 2.5 <i>"</i> 2.9 <i>"</i>

Table 1. 有感半径 r, マグニチユード M, エネルギー E の間の関係

Г	à	bl	e	2		
	_				_	

No	Data	Logation	Epic	enter	a* (1)	м	м	м	-
INO.	Date	Location	λ (°E)	\$\varphi\$ (°N)	7 (km)	. ¹ VI r	IVI G	IVI K	
. 1	1925 V 23	但馬北部	134.7	35.7	. 450	7.1	6¾	7.1	
2	1927 пт 7	丹後西北部	135.1	35.7	600	7.7	73/4	7.6	
3	1930 XI 26	北伊豆	139.0	35.1	. 590	7.7	7.1	7.3	
.4	1931 IX 21	埼玉県西部	139.3	36.0	450	7.1	634	6.4	6.8
5	1933 III 3	三陸 沖	144.7	39.1	950	8.7	8.5	8.5	7.7
6	1936 II 21	河內大和	135.7	34.5	360	6.7	6	6.6	6.6
. 7	1938 V 23	福島県東方沖	141.5	36.7	· 570 ·	7.6	7.4	7.6	7.2
8	1939 V 1	另鹿半島	139.8	39.9	320	6.5	7.0	6.9	7.1
9	1941 XI 19	日向灘	132.4	32.3	500	- 7.3	7.8	7.4	7.4
10	1943 x 10	鳥 取	134.2	35.5	510	7.4	7.4	. 7.4	7.2
11	1944 XII 7	東南海道	136.2	33.7	680	8.0	8.0	8.3	7.4
12	1945 I 13	三 河	137.0	34.7	460 .	7.2	.7.1	6,9	7.0
13	1948 VI 28	福井	136.2	36.1	470	7.2	7¼	7.2	7.2
14	1949 XII 26	栃木今市	139.7	36.7	330 (350)	6.5 (6.7)			6.4 (6.7)
15	1952 m 4	十 勝 沖	143.9	42.1	880	8.5	8.0	8.0	7.9
16	1952 III 7	大聖寺沖	136.2	36.5	360	6.7	61/2		

 M_r , M_G , M_K , M_T はそれぞれ. 有感半径, Gutenberg-Richter, Kawasumi, Tsuboi の方法できめた Gutenberg-Richter の定義による マグニチュード.

7ĉ

- 28 -

余震のエネルギーと頻度について----宇津

Table 3. 有感半径别余震回数

<u>r</u> (km)	•										130	
Earthquake	30	40	50	60	70	. 80	. 90	100	110	120	以上	合計
The test the shift											10	70
1 但馬北部				•	55	-		4	0:	. Z	12.	/ /3
2. 丹後西北部	. 85	65	21	· 10	4	- 5	3	-7	6	- 6	20	- 232
3. 北伊豆	50	31	• 3	6	3	1	1	1.	: 0	• 0.	· 0.	96
4. 埼玉県西部	5	2	1	8	. 2	3	2	4	1	4	10	: 141
5. 三陸沖						8	08		16	1 ;	164	1133
6. 河內大和	9	0	0	-0	1	· 1	0	1	0	0	0 ·	* 29
7. 福島県東方	•	 '	1	8 .		9	2	5		4	6	. 62
8. 男鹿半島	50	40	15	9	11	1	2	3	5	• 0	- 7	143
9. 日 向 灘	5	7	. 1	1		9.	· .	5		4	1	· · 87 ·
10. 鳥 取	226	108	79	87	56	20	15 -	, 14.	· _ 4	2	37.	648
11. 東南海道		·	. 78	21	19	12	6	.7	2	· 3	20	168
12. 三 河	66	60	. 47	39	30	· 15	2	9	-3	6	15	292
13. 福 井	115	122	56	. 27	19	12	5	1	. 1.	. 0	14 -	372
14. 栃木今市	91	34	19	· 14	16	· 13	3	4	1	- 1	4	*297
15. 十 勝 沖		. 1	200	•		109		12	2 -	8	46	377
16. 大聖寺沖	39	24	9	4	1	0	0	0	1	0	: 9	87
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				·	[<u> </u>			. <u>.</u>]	1

Table 4.

(*は r ≥ 30 km でないもの, Table 3. 参照)

		-								
No.	· · ·	Earth	qual	ce	M	$\log E_0$	λ	A	В	$T(\mathrm{hour})$
5.	Ē	陸	沖	(1933)	8.4	26.7	1.0	* 250	0.11	16.2?
15.	+	勝	冲	•(1952)	8.1	26.0	`1.4	* 40	-0.30	18.5
11.	東	南海	道	(1944)	7.9	25.7	1.2	* * 25	· · · ·	0.9
2.	丹		後	(1927)	7.7.	23.8	1.1	20	-0.35	1.3?
9.	B	向	灘	(1941)	7.4	22.0	1.6	4	-0.42	1.3?
7.	福.	東	沪	(1938)	7.4	. 22.7	0.8	15	-0.20	?
10.	鳥		取	(1943)	7.4	24.2	1.1	- 35	-0.40	0.6
3.	北	伊	豆	(1930)	7.3	21.5	1.5	5	-0.37	?
13.	福	· ·	井	(1948)	7.2	23.5	1.0	35	-0.35	1.2?
12.	Ξ		河	(1945)	7.1	∞ 23.0	0.6	35 .	-0.40	11.0
1.	但	•••	馬	(1925)	7.0	23.0	1.0	* 15	-0.06	0.9
8.	男	麀 半	島	(1939)	6.9	24.5	1.6	10	-0.40	1.5 ?
4.	西	埼	Ŧ	(1931) -	6.8,	22.5	1.8	. 8	-0.40	. 4.0
16.	大	聖 寺	沖	(1952)	6.6	22.5	0.9	15	-0.25	19.5
14.	栃	木今	市	(1949)	6.5	21.4	0.9	11	-0.30	2.6
6.	河	內 大	和	(1936)	6.5				<u> </u>	1.0

77

(***r**=20 km のものを含む)

78

Table 5. 1927年3月7日 丹後地震の余震の有感半径 hm (km) 23 40 (30) 19 43 (40) $04\ 31\ (40)$ 11 03 (30) 7日 20 44 (160) 14日 13 45 (160) 45 (30) 21 24 (70) 22.45 (30) 18 28(本震) 46 (250) 33 (50) 07 (40) $06.46 (\cdot 30)$ 38 (110) 49 (40) 45 (30) 04 37 (30) 16(40)22 29 (80) 10 34 (30) 21日 50 (30) 00 11 (30) 39 (110) 50 (30) 40 (40) 12 06 (30) 10日 12 49 (80) 51 (30) 44 (100) 38 (40) 02 42 (40) 41 (110) 8日 00 18 (30) 20 12 (30) 52 (100) 41 (40) 00 35 (30) 50 (30) 48 (30) $03^{\circ}53$ (40) 13 (30) $22 \square$ 03 16 (30) 44 (260) 53 (40) 36 (180) 53 (100) 14 13 (40) 04 45 (100) 15日 45 (40) 20 00 (30) 37 (30) 54 (30) 49 (30) 05 24 (150) 13 40 (40) 12 57 (110) 01 (120) 44 (40) 05 03 (30) 15 27 (30) 06 01 (40) 16日 23日 48 (.40) 10 51 (90) 02 (30) 48 (160) 15 (40) 28 (40) 07 43 (40) 22 50 (50) 49 (40) 01 04 (90) 42 (30) 29 (50) 11 47 (90) 11 05 (-30) 24日 49 (40) 22 (110) 25 (30) 06 (.30) 06 21 (70) 31 (30) 12 01 (50) 12 07 (30) 08 41 (30) 50 (100) 17 12 (30) 25 E 29 (40) 09 (30) 59 (40) 26 (40) 52 (200) 53 (60) 55 (30) 00 34 (80) 13 58 (40) 42 (70) 15 (80) 07 16 (120) 18 10 (50) 53 (40) 17日 13 36 (30) 18 00 (40) 54 (40) 43 (50) 26. (40) 16(30)19 32 (120) 04 53 (40) 17 40 (30) 48 (120) 20 57 (40) 57 (50) 33 (40) 32 (30) 21 04 (60) 07 40 (30) 19 13 (40) 34 (.70) 118 19 02 (50) 53 (60) 53 (40) 20 (30) 17 01 (30) 06 38 (40) 29日 06 (40) 54 (40) 02 04 (~40) 08 03 (40) 22 06 (50) 05 06 (60) 18日 07 35 (230) 10 (30) 21 01 (30) 07 (30) 03 (40) 23 43 (240) 02 42 (60) 30日 . 07 (30) 24 (30) 35 (50) 45 (30) 09 50 (140) 12 (50) 22 30 (140) 10 27 (40) 03 16 (50) , 21 (120) 27 (30) 13 (50) 38 (30) 9日 15 17 (60) 57 (40) 33 (30) 57 (30) 00 00 (30) 15 14 (40) 19 (40) 49 (40) 21 47 (180) 31日 22 01 (50) 17 59 (50) 22 (30) 03 03 (30) 51 (30) 02 40 (30) 03 35 (30) 19日 22 (60) 03 (30) 40 (40) 09 02 (40) 03 00 (50) 23 43 (30) 05 17 (40) 11 44 (40) 07 (40) 12日 24 (40) 24 (270) 43 (60) 05 18 (60) 06 28 (40) 1 日 27 (40) 47 (60) 13 (150) 05 30 (140) 27 (40) 06.33 (30) 06 09 (350) 12 51 (30) 15 28 (120) 30 (50) 41 (50) 57 (30) 19 (50) 08 06 (130) 23 (30) 15 50 (40) 32 (150) 45 (30) 59 (30) 22 (40) 39 (30) 13日 29 (*30) 04 07 (30) 10 49 (100) 06'30 (30) 19 00 (30) 36 (40) 23 11 (170) 42 (30) 54 (30) 31 (30) 18 (30) 13 37 (30) 10 07 (40) 11 54 (30) 37 (110) 17 (30) 09 48 (30) 20日 16 06 (30) 13 24 (100) 38 (40) 20 (40) 22 (30) 14 (160) 10.54 (30) 11 41 (40) 20 34 (30) 41 (50) 30 (40) 29 (40) 32 (50) 14 54 (40)

Table 6.

1939年5月1日 男鹿半島地震の余震の有感半径

·				0			
18	15 28 (200)	15 55 (40)	16 23 (110)	17 31 (40)	19 18 (30)	21 18 (70)	00 55 (50)
14 58(本震)	30 (40)	16 02 (40)	25 (40)	34 (40)	32 (40)	39 (40)	01 05 (360)
15 13 (70)	36 (30)	03 (120)	26 (50)	. 56 (150)	37 (40)	22 00 (110)	18 (120)
16 (60)	38 (60)	05 (30)	28 (240)	18 06 (40)	52 (30)	43 (170)	23 (50)
18 (60)	40 (30)	07 (50)	54 (40)	14 (80)	20 43 (150)	53 (60)	29 (40)
23 (40)	43 (60)	09 (130)	17 00 (50)	22 (60)	49 (100)	$23 \ 14 \ (\ 40)$	02 05 (150)
25 (40)	44 (50)	15 (110)	23 (30)	53 (40)	51 (180)	2日	10 (30)
26 (40)	48 (60)	16 (40)	30 (40)	19 03 (110)	21 12 (150)	00.43 (70)	23 (70)
		J	1	1 .	1	/	

- 30 --

02	25	(100)	04	13	(70)	13	41		40)	00	35	(160))	01	06	(30)	19	59	(30)	22	03 -	(30)	16	05	(30)
	27	(110)		40	(60)	15	21	(90)		46	(70))		25	(40)	21	13	(30)		59	(30)	19	14	(30)
	36	(40)		45	(40)		33	(60)		53	(30))	-	28	(30)	23	30	(30)		7 E			13 🗄	
	49	(40)	05	03	(70)	16	03	(<u>3</u> 0)	03	5 <u>3</u>	(4())	02	33	(30)		5	日	-	23	10	(30)	15	43	(30)
03	06	(40)	07	12	(30)	•	11	(30)	06	38.	(100))	05	18	(60)	00	14	(80)		8E			14 E	
	08	(40)		30	(60)		45	(70)	07	57	(4())	06	05	(30)	01	20	(30)	12	46	(30)	05	27	(40)
	12	(40)	08	08	(40)	18	20	(40)	09	53	(50))	08	09	(30)	11	15	(30)	-	9 E		21	50	(30)
	13	(.50)		$\dot{45}$	(30)	19	25	(40)	13	49	(90))		54	(1	.00)		34	(30)	01	29	(30)		16 E	
	16	(100)		59	(1	120)	20	03	(40)	1 4	16	(70))	09	03	(30)	15	48	(40)	05	33	(30)	03	25	(30)
	18	(70)	09	51	(80)		22	(40)	· 19	31	(30))		47	(30)	23	49	(50)		10 E	l		17 E	i
. *	$2\dot{4}$	(50)	10	21	(50)	21	18	Ϊ	40)	21	28	(30))	10	03	(30)		6	Η		02	16	(30)	00	18	(30)
	38	(50)	12	46	(40)	22	18	(40)	23	24	(7())		39	(30)	05	54	(30)		11 E	ŀ	14	20	(80)
	39	(50)		51		70)	23	17	(70)		52	(70))	13	32	(70)	16	32	(30)	13	52 .	(30)	21	30	(30)
•	.39	(50)	13	04	(40)		3	B			4	Β		15	05	(30)	21	06	(30)		12 E	۰ I		19E	I
04	02	(70)		07	(50)	0Q	28	. (50)	00	53	(30)) [[]	16	53	(30)	22	02	(30)	08	01	(30)	20	55	(70)

Table 7.

1943年9月10日 鳥取地震の余震の有感半径

10日	18 47 (80)	19 57 (60)	20 46 (40)	21 25 (30)	22 51 (40)	00 09 (40)	00 55 (30)
17 37(本震)	48 (.90)	20 01 (80)	50 (70)	27 (40)	53 (30)	11 (60)	. 56 (.30) .
48 (170)	52 (90)	03 (40)	51 (90)	30 (50)	58 (40)	11 (90)	57 (30)
53 (60)	57 (30)	04 (90)	. 53 (30)	31 (60)	23 05 (30)	12 (50)	59 (30)
55 (30)	57 (70)	06 (60)	54 (50)	32 (80)	08 (70)	13 (50)	01 00 (30)
56 (40)	19 00 (50)	06 (60)	56 (50)	• . 39 (30)	11 (60)	14 (3 0)	02 (50)
59 (90)	04 (60)	09 (50)	57 (30)	41 (30)	15 (60)	16 (30)	05 (30)
18 03 (170)	• • 09 (40)	10 (50)	59. (30)	46 (30)	19 (60)	17 (30)	07 (<u>3</u> 0)
05 (250)	10 (70)	12 (100)	59 (30)	54 (60)	21 (30)	18 (40)	09 (30)
08 (100)	14 (30)	15 (+60)	59 (30)	55 (60)	22 (30)	18 (40)	10 (50)
10 (100)	15 (50)	16 (30)	59 (50)	56 (60)	23 (140)	18 (50)	16 (30)
13 (60)	16 (30)	18 (30)	21 01 (40)	57 (60)	31 (140)	. 19 (40)	18 (30)
16 (60)	19 (50)	20 (40)	02 (50)	22 01 (60)	36 (30)	22 (40)	19 (40)
17 (50)	22 (40)	21 (60)	04 (40)	08 (60)	38 (70)	23 (140)	25 (30)
18 (190)	23 (60)	22 (40)	, 05 (60)	13 (* 80)	44 (40)	24 (50)	26 (30)
23 (130)	25 (100)	24 (30)	06 (50)	15 (40)	. 49 (60)	28 (30)	29 (140)
25 (140)	26 (110)	25 (60)	08 (30)	19 (30)	50 (70)	31 (30)	35 (110)
27 (100)	28 (50)	27 (40)	09 (30)	27 (40)	56 (30)	32 (30)	39 (60)
. 28 (100)	, 34 (40)	. 27 (60)	09 (30)	28 (60)	57 (30)	34 (30)	45 (50)
30 (60)	37 (40)	29 (80)	11 (40)	33 (50)	58 (60)	36 (30)	46 (170)
32 (260)	37 (40)	31 (60)	13 (30)	36 (300)	59 (30)	36 (80)	50 (30)
34 (60)	41 (70)	32 (60)	14 (30)	38 (30)	11日 .	41 (30)	53 (60)
38 (80)	49 (40)	32 (30)	15 (60)	38 (30)	00 01 (30)	44 (80)	57 (30)
40 (50)	49 (30)	36 (70)	17 (30)	39 (30)	.03 (40)	(30)	02 00 (50)
41 (50)	50 (50)	38 (40)	18 (30)	45 (30)	03 (50)	49 (30)	05 (70)
42 (40)	53 (50)	39 (60)	18 (30)	46 (40)	05 (50)	51 (30)	07 (30)
44 (50)	56 (60)	43 (50)	20 (.50)	47 (100)	07 (40)	52 (30)	15 (30)

79

-- 31 ----

<u>8</u>0

験 農 時 報 18 卷 2 号

02	19	(30)	04 54 (30)	10 22 (50)	15 36 (70)	23 56 (30)	14 59 (70)	05 43 (60)	19 53 (30)
•	20	(60)	58 (30)	28 (60)	44. (40)	12日	15 15 (70)	06 36 (30)	21 07 (50)
	22	(30)	59 (30)	36 (80)	47 (40)	00 08 (40)	50 (70)	07 33 (30)	22 51 (70)
	25	(70)	05 10 (80)	40 (30)	16 01 (40)	38 (50)	16 16 (70)	08 18 (50)	15日
	35	(150)	21 (70)	53 (30)	25 (70)	01 28 (30)	17 17 (30)	09 02 (30)	00 14 (60)
	40	(60)	35 (40)	54 (100)	32 (70)	43 (* 70)	22 (80)	04 (40)	02 18 (40)
	41	(⁄30)	47 (40)	58 (60)	36 (60)	54 (60)	30 (70)	11 (40)	21 (40)
	44	(30)	06 37 (40)	11 07 (40)	49 (70)	02 16 (30)	18 05 (70)	25 (150)	03 17 (30)
	46	(70)	07 18 (30)	11 (60)	53 (*70)	17 (30)	23 (40)	30 (40)	20 (30)
	55	(30)	24 (130)		17 29 (50)	22 (30)	39 (30)	32 (30)	10.14 (180)
	57	(30)	25 (80)	14(50)	41 (30)	24 (50)	46 (30)	37 (70)	11 55 (40)
~~	59	(40)	32 (60)	16 (90)	46 (30)	54 (30)	47 (60)	40 (40)	13 53 (30)
03	01	(60)	43 (30)	21(30)	57 (70)	55 (70)	58 (30)	$10 \ 00 \ (40)$	15 21 (200)
	10	(60)	51 (80)	22(30)	18 05 (80)		19 05 (70)	10 (30)	17.05(40) 10.21(170)
	10	(30)	59 (30) 08 01 (120)	40 (60)	29(70)	38 (50)	27 (60)	15 16 (50)	19 31 (150)
	20 90	$\begin{pmatrix} 30 \end{pmatrix}$	00 01 (130)	49(60)	30, (30)	04 12 (40)	35 (60)	55(50)	$20 \ 10 \ (\ 50)$
	20 20	(30)	24(00)	51(00) 59(70)	42 (40)	20 (00)	55 (30)	16 06 (30)	22 08 (30)
	20	(30)	21 (30) 31 (30)	12 23 (30)	$15\ 25\ (00)$	52(70)	20.08 (90)	$10\ 00\ (\ 50)$ $17\ 32\ (\ 60)$	43 (30)
	32	(30)	33(40)	31 (70)	47 (30)	05 40 (170)	41 (50)	$18 \ 45 \ (30)$	- 40 (00) - 16⊟
•	35	(50)	35(30)	48 (40)	49 (30)	47 (.80)	48 (30)	19 23 (30)	01 25 (60)
	38	(30)	37 (30)	54 (30)	20 00 (60)	52(60)	56 (30)	$21 \ 02 \ (\ 00)$	03 16 (60)
	43	(70)	- 41 (40)	55 (40)	20 (30)	06 23 (90)	21 31 (30)	- 50 (70)	04 20 (30)
	48	(50)	43 (120)	56 (50)	27 (80)	47 (30)	36 (30)	22 54 (30)	32 (60)
	49	(30)	47 (130)	58 (50)	40 (40)	07 05 (30)	44 (70)	23.14 (30)	11 04 (30)
	50	(30)	50 (30)	13 00 (50)	58 (50)	50 (. 60)	22 14 (40)	24 (30)	13 02 (40)
	52	(30)	52 (30)	04 (40)	21 10 (50)	08 27 (50)	17 (130)	27 (30)	31 (90)
	54	(30)	54 (40)	12 (30)	11 (30)	32 (200)	25 (50)	42 (30)	41 (70)
	56	(30)	56 (30)	14 (30)	12 (30)	44 (70)	23 06 (140)	49 (30)	18 03 (40)
	57	(70)	57 (30)	17 (70)	21 (40)	09 16 (60)	16 (50)	14日	21 50 (30)
	59	(50)	09 01 (120)	24 (70)	23 (30)	10 23 (30)	20 (170)	03 04 (30)	· 17日
04	00	(30)	. 04 (70)	36 (70)	22 02 (40)	· 34 (60)	40 (30)	04 21 (60)	00 00 (30)
	00	(40)	07 (50)	41 (30)	17 (60)	40 (200)	57 (30)	37 (100)	01 01 (50)
•	04	(30)	10 (60)	43 (50)	18 (30)	45 (140)	13日	05.09 (60)	04 41 (30)
	06	(60)	11 (50)	47 (80)	25 (30)	47 (60)	00 00 (30)	49 (30)	43 (30)
	12	(30)	12 (60)	49 (30)	30 (40)	52 (90)	35 (30)	06 32 (40)	17 17 (40)
	15	(30)	16 (40)	54 (60)	30 (40)	57 (60)	54 (40)	39 (40)	
	16	(30)	18 (50)		39 (30)	11 39 (80)	01 15 (30)	07 50 (40)	08 08 (30)
	20	(40)	19(30)	14(50)	44 (40)	12 15 (30)	53(40)	$109\ 25\ (40)$	48 (50)
	20	(30)	20 (130) 31 (50)	45 (60)	25 01 (70)	10(70)	$02\ 21\ (\ 50)$ $32\ (100)$	10 03 (70) 11 46 (40)	10 01 (40) 21 07 (40)
	33	(100)	38(40)	49 (30)	27 (50)	26(70)	41 (30)	12 35 (40)	23 57 (40)
	41	(30)	44 (30)	56 (50)	34 (100)	29 (100)		13 07 (30)	
	49	(30)	53 (130)	15 03 (30)	50 (~40)	47 (30)	32(50)	14 12 (30)	19日
	52	(30)	10 16 (300)	18 (70)	54 (30)	57 (140)	42 (50)	16 11 (30)	21 21 (50)
		1	1	1		1	1	1	1

-- 32 ----

余震のエネルギーと頻度について---宇津

· · ·						-	
20日	17 23 (30)	12 38 (•40)	01 21 (90)	07 52 (50)	00 55 (60)	22 09 (40)	08 09 (40)
03 45 (30)	23日	13 13 (60)	12 07 (60)	08 05 (40)	05 50 (30)	3日	6日
22 32 (30)	01 11 (40)	25日	13 41 (120)	09 (60)	08 58 (40)	02 07 (100)	22 02 (80)
21 🖯	21 51 (100)	09 59 (40)	21 27 (30)	11 (50)	10 19 (30)	05 13 (30)	
11 32 (90)	24 ⊟	12 50 (40)	28日	37 (30)	14.34 (70)	• 4⊟	
14 50 (100)	03 16 (110)	26 ⊟ [*]	02 12 (40)	09 19 (30)	2⊟	00 11 (30)	
21 39 (40)	55 (50)	12 50 (30)	07 18 (220)	10 44 (70)	11 03 (50)	01 15 (30)	
22 ⊟	08 56 (40)	17 08 (60)	23 (130)	13 04 (.60)	18 45 (130)	07'05 (30)	
06 53 (40)	09 10 (40)	27日	42 (50)	29⊟	21 14 (30)	5日	

Table. 8.

1945年1月13日 三河地震の余震の有感半径

13 日	05 01 (50)	06 43 (50)	11 29 (40)	18 07 (30)	. 04 20 (40)	22 14 (100)	19 33 (40)
03 38(本震)	- 08 (60)	51 (40)	32 (100)	14 (70)	30 (40)	29 (30)	21 45 (.50)
49 (70)	09 (70)	52 (40)	45 (80)	23 (70)	46 (30)	43 (70)	23 38 (.50)
52 (120)	10 (40)	55 (40)	51 (130)	56 (70)	06 00 (210)	23 28 (60)	16⊟
54 (120)	12 (40)	07 14 (100)	57 (70)	58 (110)	09 (170)	39 (30)	00 52 (50)
57 (* 70)	13 (40)	17 (30)	12 07 (30)	19 08 (70)	20 (30)	42 (160)	01 26 (50)
04.00 (70)	14 (. 60)	24 (170)	08 (40)	24 (60)	· 27 (40)	49 (50)	04 17 (80)
04 (50)	22 (30)	30 (40)	16 (60)	26 (40)	.07 01 (30)	15日	07 34 (50)
07 (50)	24 (40)	39 (30)	21′(40)	34 (-40)	07 (30)	00 31 (50)	09 53 (30)
08 (110)	26 (40)	41 (50)	- 25 (30)	58 (240)	32 (30)	01 45 (70)	16 45 (220)
. 13 (60)	27 (60)	08 04 (70)	47 (80)	20 28 (.40)	08 00 (60)	02 25 (120)	17 03 (60)
14 (110)	29 (70)	12 (80)	53 (100)	37 (40)	-14 (70)	03 03 (30)	18 57 (30)
17 (70)	33 (30)	15 (*30)	13 08 (30)	44 (50)	42 (50)	05 (60)	19 08 (60)
18 (80)	36 (40)	32 (30)	45 (120)	47 (* 40)	09 28 (30)	22 (50)	24 (50)
20 (70)	39 (60)	40 (40)	$14\ 24\ (\ 30)$	51 (40)	10 39 (110)	53 (30)	34 (50)
22 (80)	42 (40)	50 (50)	27 (50)	21 02 (40)	11 17 (30)	55 (50)	.58 (150)
. 23 (80)	46 (30)	54 (30)	36 (250)	37 (40)	23 (30)	04 10 (40)	21 30 (30)
27 (70)	50 (70)	58 (50)	50 (30)	22 32 (40)	33 (60)	06 41 (50)	22 14 (50)
29 (80)	52 (60)	09 01 (70)	53 (100)	34 (30)	12 21 (80)	55 (60)	37 (230)
31 (90)	56 (70)	10 (50)	15 13 (40)	52 (60)	13 45 (40)	07 01 (130)	48 (40)
34 (40)	57 (30)	13 (40)	15 (40)	14日	55 (30)	16 (30)	23 03 (30)
36 (150)	06_01 (120)	35 (30)	28 (30)	00 22 (50)	15 01 (100)	'08 23 (30)	17日,
41 (70)	10 (.60)	51 (40)	43 (60)	43 (70)	16 26 (30)	09.06 (120)	01 39 (40)
42 (40)	12 (40)	59 (40)	55 (50)	49 (30)	18 41 (30)	10 01 (40)	02 14 (40)
44 (40)	15 (70)	10 10 (60)	16 13 (60)	58 (~70)	57 (40)	12 10 (40)	03 44 (30)
46 (50)	17 (60)	25 (30)	24 (70)	01 16 (80)	19 10 (90)	39 (100)	05 36 (50)
48 (40)	18 (40)	40 (30)	48 (100)	52 (40)	33 (60)	13 01 (30)	11 47 (160)
49 (60)	. 22 (60)	43 (40)	58 (40)	02 09 (50)	20 49. (60)	07 (30)	13 03 (30)
51 (50)	23 (70)	47 (30)	17 09 (40)	14 (30)	56 (60)	18 (70)	15 53 (40)
53 (*60)	25 (40)	11 10 (100)	. 18. (30)	17 (50)	58 (.60)	14 44 (30)	17 09 (30)
54 (40)	26 (40)	22 (60)	19 (〔40)	38 (50)	21 50 (30)	16 57 (70)	15 (30)
56 (50)	35 (30)	26 (30)	21 (60)	04 06 (30)	53 (320).	18 50 (250)	20 25 (30)

- 33 -

21 24 (60) 15 11 (60) 08 05 (70) 17 11 (50) 13 23 (30) 07 09 (220) 20 50 (70) 21日 22 54 (60) 18 04 (50) 13 31 (30) 00 14 (60) 31 (-60) 22 16 (30) 29日 31 EÌ 23 39 (40) 19 52 (30) 15 16 (80) 12 02 (60) 18 21 (60) 25 ⊟ 03 38 (50) $05\ 26\ (\ 50)$ 18 36 (50) 23 22 (60) 23日 14 30 (50) 09 35 (*40) 56 (40) 18日 20 07 (40) 19 18 (50) 38 (60) 00 08 (100) 26日 22 03 (30) 02 44 (50) 12 (50) 05 07 (50) **2**2日 02.54 (40) 00 34 (60) 30 E **19** 🗄 $21 \ 04 \ (30)$ $03 \ 40 \ (\ 60)$ 00 50 (.70) 24日 06 43 (60) 06 11 (50) 01 13 (50) 20日 10 03 (50) 03 18 (180) 03 20 (60) 09 15 (60) 03 20 (80) 27 Ė 11 39 (40) 19 19 (80) 15 41 (170) 05 36 (50) 00 13 (50) 18 27 (50) 11 59 (60) 06 31 (30) 23 28 (120) 16 44 (50) 10 58 (50) 37 (80) 28日 12 52 (60) 57 (30)

Table: 9.

1948年6月28日 福井地震の余震の有感半径

					_	a second s	
28日	17 44 (40)	19 28 (40)	21 16 (30)	23 30 (60)	03 39 (30)	09 26 (70)	19 22 (30)
16 13(本震)	47 (80)	30 (70)	21 (50)	36 (60)	41 (30)	32 (30)	34 (40)
24 (250)	50 (30)	33 (30)	29 (50)	. 44 (30)	44 (30)	33 (* 30)	35 (30)
29 (180)	53 (40)	36 (50)	35 (30)	49 (80)	57 (30)	51 (30)	46 (30)
32 (180)	54 (50)	38 (50)	42 (50)	53 (30)	04 04 (30)	56 (50)	21 10 (30)
36 (80)	18 00 (40)	41 (60)	44 (190)	29日	18 (50)	10 03 (30)	30 (50)
⁷ 39 (240)	04 (40)	47 (30)	51 (40)	00 06 (30)	26 (30)	27 (50)	45 (90)
. 44 (60)	08 (30)	48 (40)	56 (40)	12 (30)	44 (30)	11 14 (40)	55 (80)
45 (50)	10 (70)	52 (30)	58 (30)	14 (40)	55 (40)	23 (30)	22 11 (50)
49 (50)	11 (30)	56 (40)	22 05 (30)	28 (50)	05 05 (30)	36 (30)	44 (40)
50 (60)	15 (90)	59 (30)	10 (50)	32 (50)	11 (30)	12 10 (30)	23 10 (50)
53 (30)	21 (150)	20 01 (.30)	· · 11 (60)	33 (40)	14 (30)	24 (30)	12 (40)
55 (40)	24 (40)	05 (40)	12 (40)	37 (40)	. 30 (50)	43 (40)	21 (40)
57 (40)	27 (50)	06 (40)	. 15 (30)	48 (40)	34 (30)	52 (30)	39 (50)
[°] .58 (*40)	$32^{r}(50)$.08.(30)	16 (60)	55 (50)	54 (30)	13 21 (30)	30日
59 (70)	35 (40)	· 10 (60)	19 (30)	01 20 (60)	06 00 (30)	22 (30)	00 12 (170)
17 02 (40)	39 (40)	13 (30)	26 (50).	27 (30)	20 (•30)	46 (30)	44 (~50)
03 (40)	42 (50)	17 (40)	31 (50)	40 (30)	44 (70)	14 23 (60)	02 24 (50)
.05 (40)	43 (60)	20 (40)	34 (•60)	53 (60)	57 (60)	43 (30)	03 09 (40)
07 (70)	46 (110)	24 (40)	37 (50)	02 04 (30)	07 09 (30)	50 (30)	14 (30)
10 (90)	50 (80)	28 (30)	38 (40)	11 (80)	29 (30)	57 (30)	, 24 (30)
12 (70)	54 (50)	36 (40)	39 (160)	16 (50)	51 (40)	15 14 (30)	29 (30)
12 (80)	19 02 (30)	41 (40)	· 43 (60)	20 (50)	08 20 (50)		43 (40)
19 (90)	03 (30)	49 (60)	44 (130)	24 (30)	25 (40)	52 (30)	04 33 (30)
23 (30)	04 (40)	53 (50)	48 (* 40)	29 (70)	31 (30)	16 06 (50)	42 (60)
24 (170)	13 (•40)	55 (60)	53 (~30)	- 37 (30)	38 (70)	13 (30)	05 12 (80)
- 27 (40)	15 (40)	21 00 (70)	55 (40)	59 (70)	39 (30)	25 (30)	36 (40)
29 (40)	16 (30)	02 (70)	23 06 (40)	03 09 (40)	39 (70)	17 08 (40)	06 50 (40)
31 (40)	19 (40)	04 (40)	08 (40)	16 (50)	09 00 (60)	40 (30)	07 02 (50)
35 (80)	22 (40)	09 (30)	11 (30)	23 (50)	12 (40)	18 08 (30)	46 (30)
39 (40)	.23 (.80)	10 (50)	16 (40)	26 (60)	18 (30)	56 (30)	08 04 (.30)
40 (150)) 27 (40)	14 (80)	26 (30)	29 (50)	23 (40)	19 15 (40)	19 (30)
	1	4	e 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		* · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		

82 [·]

10 06 (.40)	20 33 (40)	18 29 (30)	3⊟	17 38 (30)	02 46 (40)	15 09 (40)	15日
59 (40)	21 04 (30)	19 48 (30)	$02\ 17\ (\ 40)$	23 31 (40)	11 12 (30)	51 (40)	01 07 (40)
11 01 (40)	22 01 (40)	-52 (.70)	07 19 (30)	5日	15 01 (60)	16 43 (40)	02 24 (70)
(43 (40)	23 36 (40)	20 08 (50)	13 19 (60)	11 22 (40)	21 28 (40)	18 12 (40)	05 57 (70)
12 05 (30)	42 (40)	28 (50)	14 21 (30)	48 (40)	8日	11日	23 30 (50)
: 33 (30)	18	36 (60)	24 (30)	15 10 (90)	01 38 (50)	11 17 (50)	16日
35 (30)	00 47 (50)	23 45 (50)	56 (40)	18 43 (30)	03 55 (50)	12⊟	14 01 (40)
54 (40)	02 13 (40)	2⊟	16 24 (40)	19 47 (30)	13 31 (40)	02 26 (50)	17日
14 37 (40)	32 (30)	08 24 (40)	22 00 (30)	20 44 (30)	15 21 (70)	05 36 (40)	04 19 (40)
47 (40)	06 25 (`50)	09 21 (50)	09 (40)	21 26 (30)	20 57 (50)	06 53 (-50)	20日
$15\cdot 36\ (\ 30)$	08 52 (40)	13 58 (40)	23 22 (40)	23 49 (30)	9日	18 00 (30)	06 54 (70)
$16\ .34\ (\ 40)$	09 56 (40)	16 01 (40)	55 (50)	-6日	02 02 (40)	14日	20 51 (80)
$17\ \ 35\ \ (\ \ 40)$	10 18 (50)	17 38 (40)	4⊟	00 16 (.40)	10日	00 43 (60)	21 日
18 29 (30)	11 40 (60)	19 59 (40)	04 57 (*60)	12 04 (40)	01 18 (30)	01 10 (40)	01 12 (40)
$20 \ \ 05 \ \ (\ \ 30)$	15 12 (70)	22 49 (130)	16 47 (100)	15 58 (30)	03'36 (50)	03 15 (30)	24 ⊟
17 (30)	16 13 (40)	23 03 (60)	17 13 (30)	78	11 13 (200)	04 14 (30)	10 48 (50)

1949年12月26日 栃木地震の余震の有感半径

Table. 10.

26⊟	(9 06 (40)	10 05 (20)	11 48 (50)	14 12 (90)	18 16 (30)	00 29 (* 20)	09 23 (40)
18_17(本震)	08 (20)	10 (20)	12_01 (30)	17 (40)	27 (30)	35 (20)	27 (20)
25 (350)	10 (50)	12 (90)	02 (20)	20 (20)	· 36 (20)	59 (*20)	31 (40)
27 (20)	11 (30)	16 (30)	11 (30)	31 (30)	53 (20)	01 09 (40)	10 06 (30)
34 (70)	12 (30)	18 (20)	15 (30)	32 (20)	59 (30)	16 (,20)	18 (30)
36 (80)	14 (60)	24 (50)	16 (20)	34 (30)	19 03 (20)	02 52 (20)	12 07 (30)
36 (40)	17 (40)	32 (20)	22 (30)	50 (30)	15 (130)	53 (20)	12 (100)
36 (80)	22 (70)	32 (70)	23 (20)	53 (30)	27 (30)	58 (20)	, 21 (20)
38 (100)	27 (20)	44 (50)	41 (20)	53 (20)	38, (40)	03 04 (70)	13 13 (30)
39. (80.)	29 (20)	46 (60)	49 (40)	58 (30)	39 (100)	13 (20)	14 (20)
41 (70)	30 (20)	48 (60)	59 (30)	15 22 (70)	53 (30)	17 (20)	14 03 (20)
42 (60)	30 (40)	49 (50)	59 (40)	28 (30)	20 11 (20)	46 (20)	05 (60)
47 (50)	32 (20)	51 (170)	13 03 (80)	45 (20)	51 (20)	48 (50)	12 (30)
48 (70)	32 (40)	58 (20)	10 (60)	46 (30)	21 20 (80)	04 06 (50)	. 56 (50)
50 (<u>30)</u>	33 (40)	59 (80)	14 (30)	47 (20)	. 24 (20)	38 (20)	16 54 (50)
50 (20)	34 (50)	11 00 (50)	16 (30)	52 (80)	29 (30)	46 (50)	17 02 (30)
54 (20)	35 (70)	08 (20)	21 (30)	16 00 (50)	55 (70)	05 10 (20)	55 (20)
. 55 (70)	36 (40)	10 (20)	35 (40)	07 (30)	22 00 (20)	12 (20)	56 (240)
56 (60)	37 (20)	17 (40)	43 (40)	10 (30)	21 (20)	18 (40)	59 (80)
58 (20)	38 (20)	21 (30)	48 (30)	41 (40)	25 (40)	06 36 (20)	18 09 (60)
59 (30)	43 (80)	22 (20)	48 (20)	17 09 (30)	31 (20)	49 (20)	10 (90)
09 01 (60)	49 (30)	26 (20)	⁻ 49 (30)	. 21 (30)	23 22 (40)	07 58 (30)	15 (40)
02 (60)	50 (20)	28 (20)	50 (30)	27 (100)	· 41 (20)	08 04 (20)	32 (50)
04 (30)	50 (60)	29 (40)	14 00 (30)	36 (30)	52 (20)	40 (80)	36 (30)
05 (30)	53 (20)	35 (20)	04 (30)	40 (30)	27日	53 (20)	51 (20)

35

07 41 (20) 07 25 (20) 19 22 (30) 03 21 (30) 19 18 (120) 12 56 (30) 12日 $01 \cdot 36 (30)$ 02 17 (20) 11 06 (30) 20 41 (30) 06 07 (30) 00 41 (40) 24 (80) 14 30 (30) 10 35 (20) 10 30 (20) 23 34 (30) 08 30 (60) 09 17 (20) 31 (30) 16 01 (30) 12 39 (50) 13 27 (30) `53 (20) 20日 20 13 (40) 25 (30) 18 47 (20) 18 49 (40) 3日 78 21 32 (20) 00 04 (40) 19 26 (70) 23 25 (60) 21 02 (30) 18 04 (30) 22 44 (30) 20 45 (30) 22 30 (20) 21日 05 23 (40) 8日 45 (110) 19 25 (30) 23 08 (*20) 18 05 24 (70) 03 34 (90) 40 (40) 23 00 (40) 51 (30) 40 (80) 02 48 (30) 10 38 (30) 11 35 (20) 07, 10 (30) 11 40 (40) 09 39 (30) 28日 21 15 (20) 30日 13日 17 33 (40) 01 41 (170) 32 (30) 06 51 (30) 08 56 (20) 15 46 (50) 10日 03 58 (20) 48 (30) 19 02 (30) 03 42 (20) 23 36 (30) 08 27 (30) 12 26 (30) 06 00 (50) · 14日 20.31 (20) 05 10 (30) 04 01 (20) 29日、 12 05 (40) 2日 56 (30) 07 (50) 12 18 (40) 05 23 (20) 18 16 (30) 00 18 (* 50) 23 40 (80) 11日 00.59 (40) 01 27 (20) 07 26 (20) 01 08 (30) 31日 01 33 (60) 4⊟ 13 40 (30) 08 31 (+30) 00 42 (20) 03 39 (20) 16 19 (20) 06 56 (70) 16日 35 (40) 06 03 (70) 21 29 (20) 09 09 (70) 03 00 (20) 32 (110) 03 13 (60) 43 (20) 11 06 (50) 12 20 (60) 40 (30) 05 28 (30) 02 41 (20) 11 10 (30) 5日 18 43 (30) 16 35 (20) 17 04 (20) 15 05 (30) 10 56 (30) 07 09 (20) 03 23 (30) 12 50 (30) 23 (70) 04 52 (30) 52 (30) 6日 22 36 (20) 17日

Table, 11	1952 年	3	月	7	日	大聖寺沖地震の余震の有感半径
		-				

(50)
1 A 1 A
(30)
]
(30)
ġ.
(70)
3
(40)
3
(30)
(40)